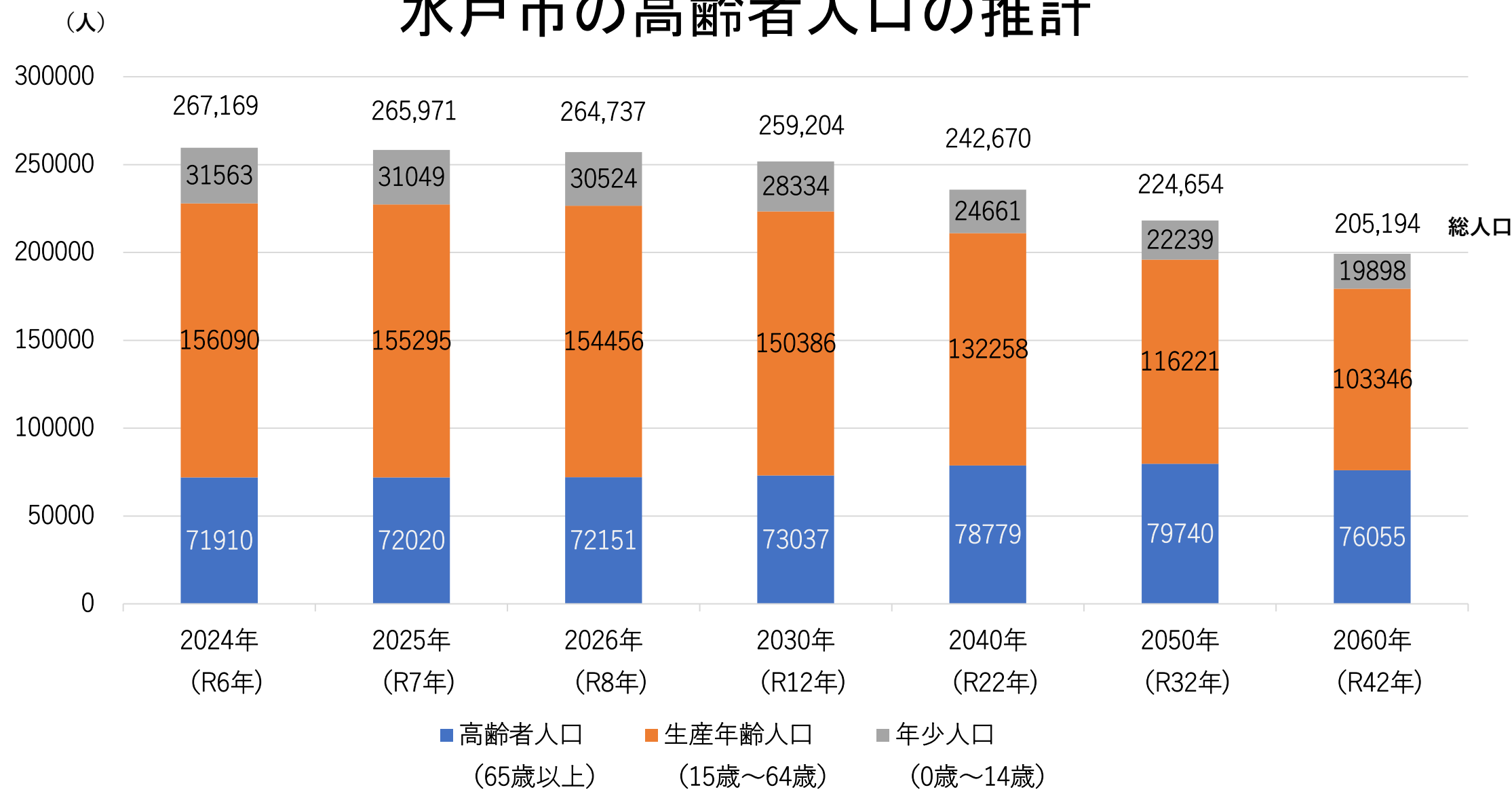




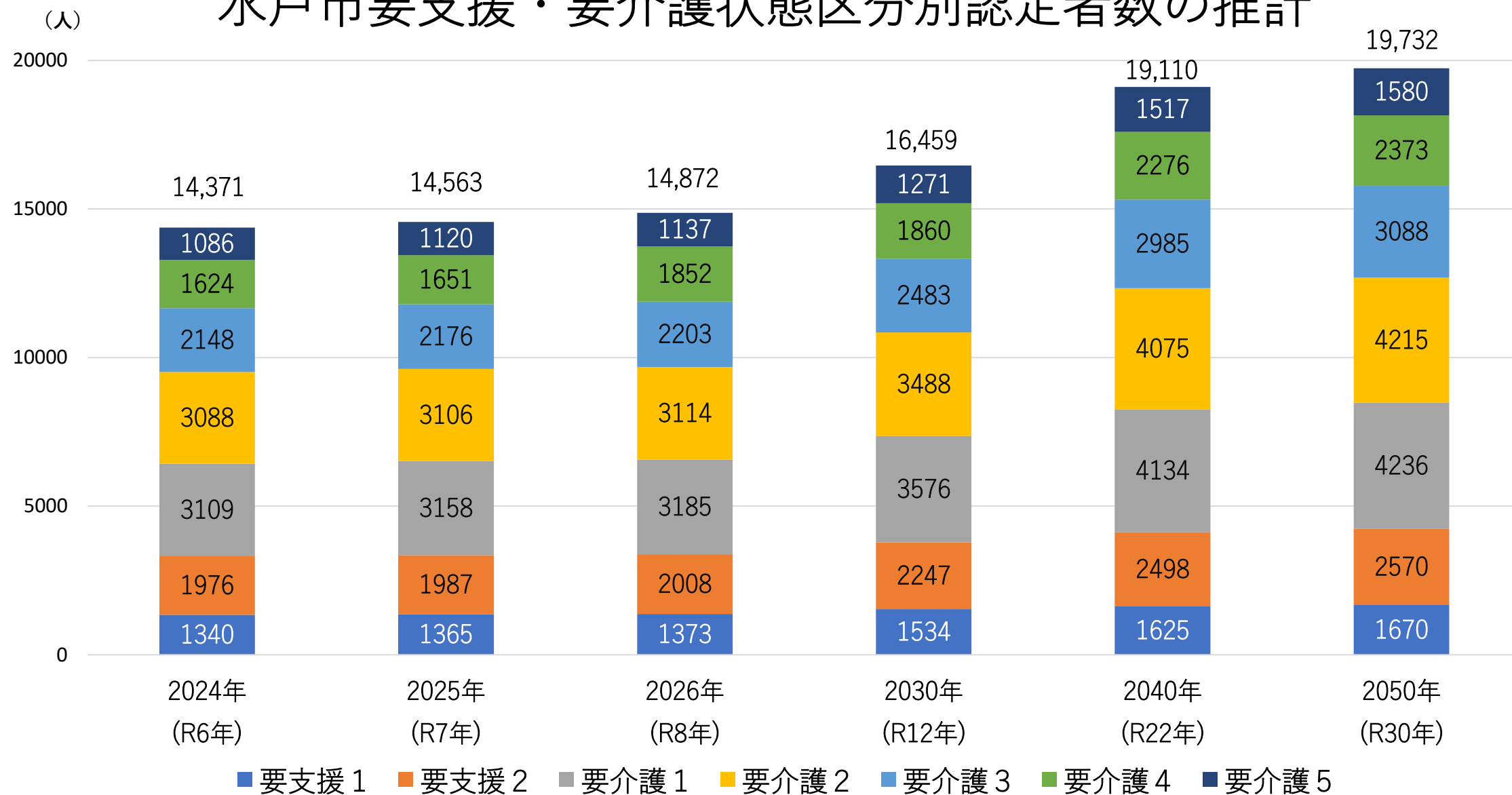
水戸市医師会 訪問看護ステーションみとの取組み ～2040年を見据えた医療と介護の在り方～

水戸市医師会 会長 細田弥太郎

水戸市の高齢者人口の推計

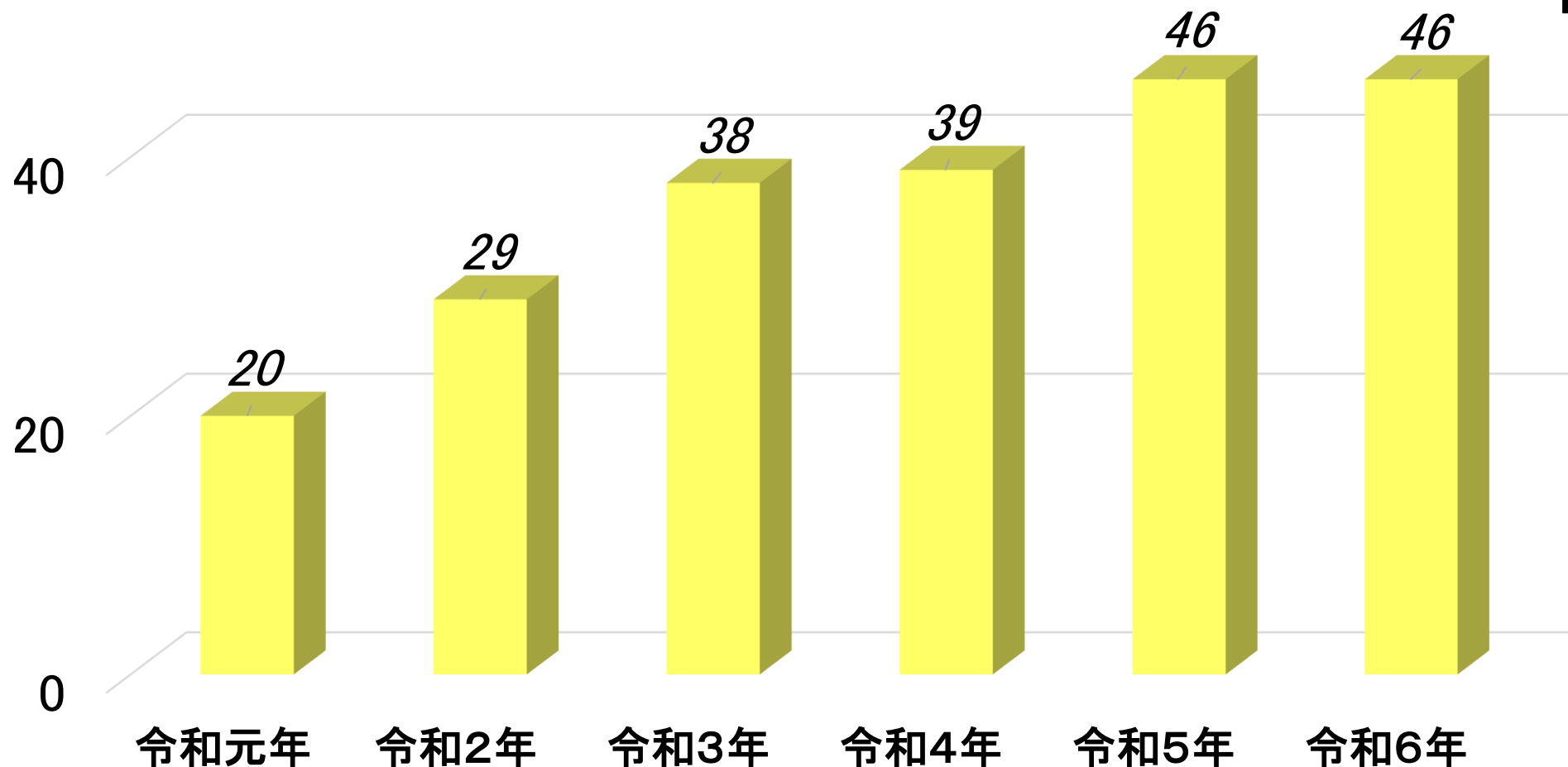


水戸市要支援・要介護状態区分別認定者数の推計



水戸市内訪問看護ステーション数

茨城県 R6 288
R7 316



65歳以上人口10万対訪問看護ステーション数
茨城県 37 全国平均 52 水戸市 63 大阪府 94

水戸市医師会訪問看護ステーションみと職員構成

	訪問看護ステーション			介護保険センター	
	看護師	作業療法士	事務	介護支援専門員	在宅医療・介護 連携支援専門員
60代	2		1		1
50代	8	1		1	
40代	6		1	2	
計	16	1	2	3	1
合計	19			4	

プラチナナース就業者数の推移



出典：「衛生行政報告例」（厚生労働省・2022年）



茨城県看護協会では、訪問看護入門から管理者レベルまでの研修を実施しております。【訪問看護支援事業(県委託)】

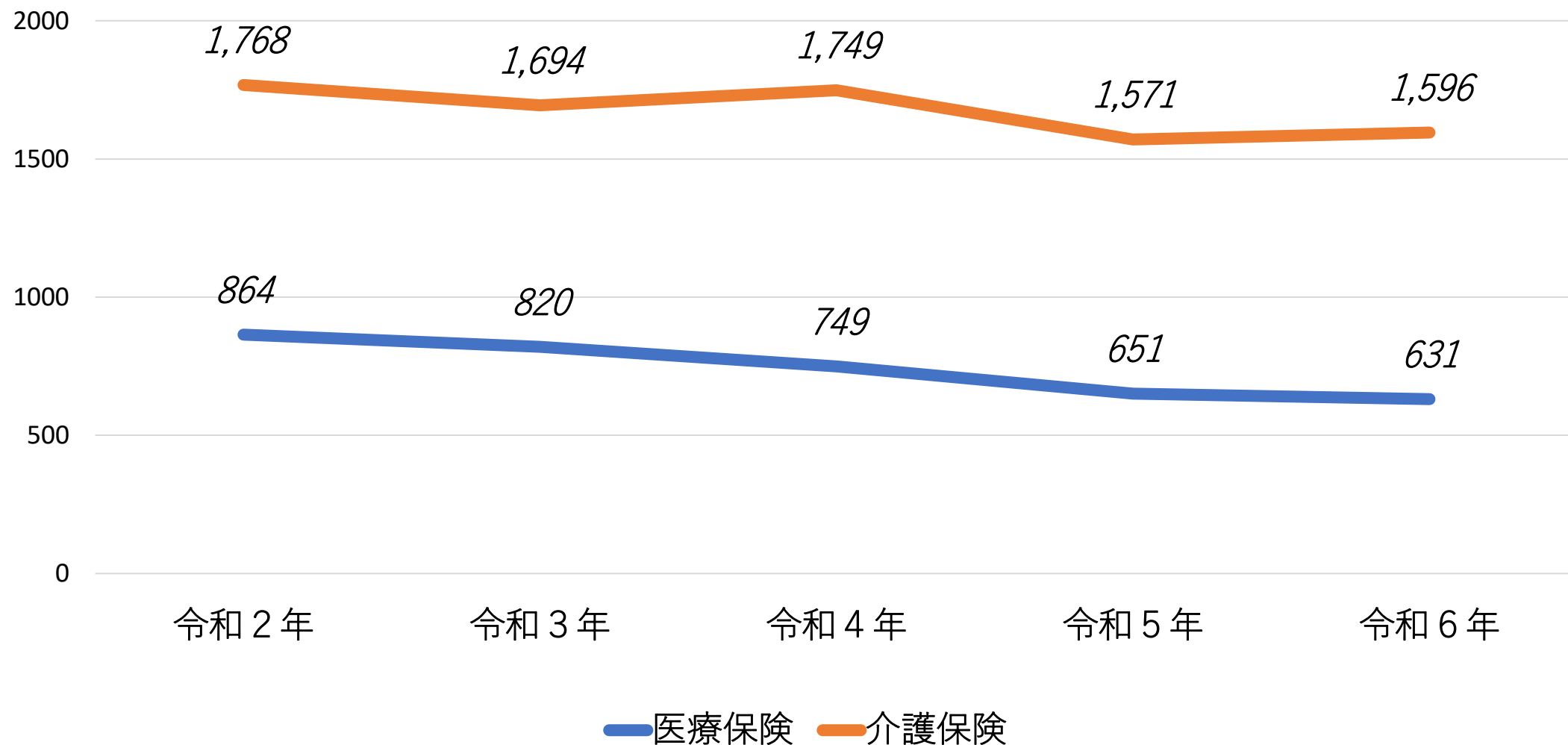


潜在看護師 695,461人

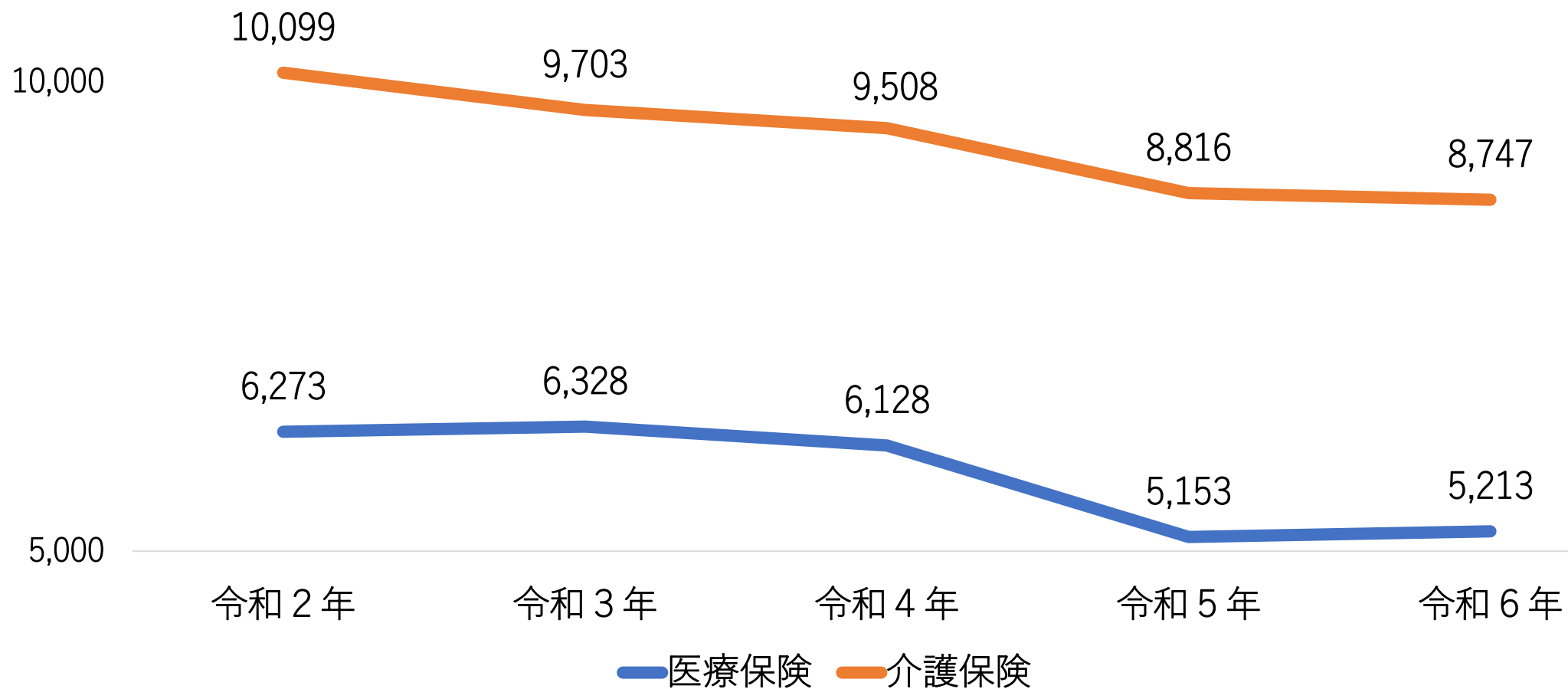
年齢	潜在数	潜在率
25歳未満	33,206人	22.38%
25～29歳	66,819人	27.63%
30～34歳	97,950人	36.91%
35～39歳	109,610人	36.01%
40～44歳	73,321人	23.90%
45～49歳	71,428人	25.25%
50～54歳	66,383人	26.05%
55～59歳	77,318人	33.17%
60～64歳	99,426人	50.30%

出典：新たな看護職員の働き方等に対応した看護職員需給推計への影響要因とエビデンスの検証についての研究（令和2年度）

水戸市医師会訪問看護ステーションみと 年間利用者数の推移



水戸市医師会訪問看護ステーションみと 年間訪問回数の推移



訪問看護ステーションの収入

⇒ 99% : 訪問看護の報酬

医療保険と介護保険報酬

- 訪問看護の利用者数と
利用回数に左右される事業
- 支出費用の約80%は人件費

2040年問題への対応

2040年問題:「高齢者の急増」から
「現役世代の急減」に局面が変化



- 労働力制約下での医療・介護サービスの確保
 - テクノロジー等活用による生産性の向上
- 現役世代の急減の中での社会の活力維持向上
 - 高齢者はじめ多様な就労促進

機器ができることは、機器へ



ICT化による業務効率化
ビデオ通話の活用
オンラインによるケア会議



タブレット端末導入

【メリット】

- 利用者情報の常時即時確認可能、緊急対応にも有用
- 音声入力等により効率的な書類作成可能
- 申し送りの時間短縮
- 職員行動の把握が容易

【デメリット】

- 情報漏洩のリスクや破損などに対する不安
- 眼精疲労

積極的な人材確保対策

- 看護職自身の訪問看護に対する
意欲を高めるための労務環境の整備
- キャリアアップにつながる評価と地位向上
- 待遇改善、柔軟な雇用条件、直行直帰

これからの訪問看護ステーション

【課題】

- 利用者の満足度を向上させる
質の高いサービス提供
- 高齢者・市民・社会的ニーズへの対応
- 周辺医療圏とのバランス
- 明確な地域包括ケアシステムの中での
位置づけ
- 法的要件やコンプライアンスの確保

2040年に向けた地域共生社会の実現

高齢化や人口減少が進み社会基盤は弱体化

⇒孤立せずに生活が送ることができる地域共生社会の実現に向けて、
地域での医療・看護・介護福祉等総合的な支援体制が必要

健康維持、傷病悪化予防から
最期まで暮らすことができるような看護支援は重要
訪問看護ステーションは地域共生社会の実現に
不可欠な社会資源の一つ